

# 令和6年度 大船渡市民活動支援事業 活動報告 (1/3)

団体名	日本ツバキ協会大船渡支部
事業名	「椿の里、次の百年への展望」フォーラム事業

## 〈事業概要〉

本フォーラム事業では、令和4年度を初年度とし、全国に誇ることのできる「椿の里」の形成を目指し、「椿資源」と椿産業の持続可能な進展に資する事業とするため次の事業を実施しました。

令和4年度：椿の市内現状視察（末崎方面）、椿講演会（ツバキ協会理事 柄戸氏）、椿の歴史と文化展

令和5年度：椿の市内現状視察（三陸方面）、椿講演会（気仙歴史研究会 会長甘竹勝郎氏）、ツバキを用いた寄せ植え等各種ワークショップ（以下、「WS」と記載）

令和6年度は、2年間の事業に引き続き、市民の関心の高かった1つ、「ツバキを用いた各種WS」を重点的に行いました。

- (1) ツバキを使った盆栽教室WS (R6. 10. 14 開催、10 名参加)
  - (2) ツバキを使った秋の寄せ植え教室 (R6. 11. 10 開催、18 名参加)
  - (3) ツバキを活かす正月用寄せ植え教室 (R6. 12. 22 開催、17 名参加)
- いずれも、会場は「世界の椿館・基石」

## 〈実施効果〉

- (1) 募集開始後間もなく定員に達するなど、「ツバキを使った寄せ植え」などへの市民の関心が高いものと思われ、事業の継続を希望する声も多く聞かれた。
- (2) 行事に際して、来る令和8年3月に開催が予定される全国椿サミット大船渡大会についてもPRしたところであり、気運醸成に一役果たしたと思われる。
- (3) WSなどを通じて、既存の施設やまちづくり等に関し、多くの意見を聴くことができた。将来の取り組みに活かしたい。
- (4) 各種団体や個人と連携・協力して進めることにより、市民の理解や、今後の持続的進展に一定の役割を果たしたと考える。（今回、「世界の椿館・基石」、おおふなと花の会他からご協力をいただきました。）

## 令和6年度 大船渡市民活動支援事業 活動報告 (2/3)

### 〈今後の展開〉

来年度以降、可能なWS等の事業に取り組みつつ、(1)市内の椿資源の「マップ化」、「市内のツバキ見どころガイド」などの作成を検討、(2)椿園等の整備や「三面椿」の環境整備等に関し、検討要望や協力を行い、来るべき令和8年3月の「全国椿サミット大船渡大会の成功に向けて、参画していきたい。

### 〈市民の皆さんへ〉

令和8年3月に開催予定の「全国椿サミット大船渡大会」が、1年後に迫りました。

椿サミットは、椿の魅力を再確認し、椿を活かした地域振興やまちづくりにつなげようと、全国椿サミット協議会と日本ツバキ協会との共催で、毎年1回開催されています。

また、椿サミットでは、初日のステージ催事（総会、記念講演、事例発表、各種展示など）に続き、2日目は碁石地区を中心とした現地視察やオプショナルツアーなどが行われます。

各種展示などでは、小中学校の児童生徒から大人まで、市民の皆さんご協力が不可欠です。椿サミットを機会に、全国からたくさんの椿愛好者を招くだけの一過性の催事に終わるのでなく、「椿の里」の将来につながるサミットとするため、市民の皆さんのご協力をお願いいたします。



寄せ植えの管理など懇切な指導



熱心に寄せ植えを楽しむ



寄せ植え取り組み状況



正月用寄せ植え完成